

職業に関する教科の改訂のポイント

職業に関する各教科については、「将来のスペシャリストの育成」、「地域産業を担う人材の育成」、「人間性豊かな職業人の育成」という三つの観点を基本として、教科横断的に改善。具体的には、社会的責任を担う職業人としての規範意識や倫理観、技術の進展や環境、エネルギーへの配慮、食の安全、情報モラル・セキュリティ管理の重要性等、各種産業で求められる知識と技術、資質を身に付けさせる観点から、科目の新設を含め科目の構成や内容を改善。

1 将来のスペシャリストの育成

- 専門性の基礎・基本を一層重視するとともに、専門分野に関する知識と技術の定着を図る観点から科目の構成や内容の改善を図り、現行の8教科169科目から8教科188科目で構成。

農業：29→30，工業：60→61，商業：17→20，水産：20→22

家庭：19→20，看護：6→13，情報：11→13，福祉：7→9

- 職業に関する各学科における原則履修科目は、現行と同様、各教科の基礎的科目と課題研究の2科目。
- 実社会や職業とのかかわりを通じて、職業観、規範意識、コミュニケーション能力等に根ざした実践力を身に付ける観点から、総則において「産業現場等における長期間の実習を取り入れる」ことを明記。

2 地域産業を担う人材の育成

- 地域産業や地域社会との連携や交流を促進させる観点から、各教科で「地域や産業界等との連携・交流を通じた実践的な学習活動や就業体験を積極的に取り入れるとともに、社会人講師を積極的に活用するなどの工夫に努める」ことを明記。
- 地域産業を担う人材の育成を重視する観点から、農業や商業、水産等の関係科目において、地域産業の振興、商品開発や起業的な活動等に取り組む学習に関する内容を充実。

3 環境・エネルギー、食の安全等への対応と職業人としての倫理観の育成

- 各教科の目標に、「○○の諸課題を倫理観をもって解決し…」という文言を明記（看護、福祉については、各科目レベルで明記）するとともに、関係科目においても内容を充実。
- 農業、工業、水産、家庭等の関係科目において、例えば工業で「環境工学基礎」を新設するなど、環境・エネルギーに関する内容や食料の安全で安定的な供給など食の安全等への対応に関する内容を充実。
- 職業に関する各教科ごとの情報関連科目において情報モラルや情報のセキュリティ管理に関する内容を充実。

高等学校「工業科」(専門教科)改訂のポイント

- 原則履修科目：「工業技術基礎」「課題研究」
- 科目構成：「環境工学基礎」を新設するなど現行の60科目から61科目で構成
- 主な改善事項
 - ・工業技術の高度化，環境・エネルギー問題への対応
 - ・情報化とネットワーク化の進展への対応
 - ・技術者倫理の要請と伝統技術の継承の高まりなどへの対応

各科目の改善事項

- 教科の目標に，環境に加えてエネルギーに配慮することを明記。
- 環境に関する基礎的な内容を学ぶ「環境工学基礎」を新設するとともに，「実習」や「建築計画」などでエネルギーについて配慮することを明記。
- 情報化とネットワーク化の進展に対応するため，「マルチメディア応用」をコンピュータシステムに関する学習の充実を図り「コンピュータシステム技術」に名称変更。
- 「情報技術基礎」，「プログラミング技術」，「ハードウェア技術」，「ソフトウェア技術」においても，学習内容を再編成。
- 教科の目標に工業の諸課題を倫理観をもって解決することを明記するとともに，「工業技術基礎」において，ものづくり技術者として求められる使命と責任について理解させることを明記。
- 「実習」，「建築法規」，「化学工学」等において，技術者としての倫理感を養うことや法令遵守について明記。
- 「実習」において日本の伝統技術・技能を扱うことを明記するとともに，「繊維製品」等において，日本の伝統的な技法について扱うことを明記。

お知らせ

322号でお知らせしました「機械製図製図例3Dデータ集DVD」のデータ形式について、変更がありました。
(変更前) 3D-PDF形式とDXF形式の2種類のデータ
(変更後) pdfデータ，IGSデータ，SLDPRTデータ（一部SLDASMデータ）

現在製品版の最終確認を行っております。ご注文いただきました学校には出来次第書店よりお届けいたします。授業や教材開発にご活用いただければ幸いです。

定価 15,750円（指導書扱いでご購入いただけます）

高等学校・特別支援学校学習指導要領実施スケジュールの概要

I. 高等学校

- 平成21年度中に周知徹底を図り、可能なものは先行して実施
- 平成25年度入学生から新学習指導要領を学年進行で実施

1. 総則、総合的な学習の時間、特別活動は平成22年度から実施

- 直ちに実施可能な、総則、総合的な学習の時間、特別活動については、平成22年度から新学習指導要領の規定を先行実施。(総則のうち、各教科・科目及び標準単位数、必履修教科・科目及び総合的な学習の時間の履修に関する規定を除く)

2. 数学及び理科は平成24年度入学生から学年進行で実施

- 数学及び理科については、平成24年度入学生から、教科書を準備した上で新学習指導要領による指導を実施。(平成24年度入学生は、中学校3年間、新中学校学習指導要領に準じた指導を移行措置として受けているため)

3. 他の各教科等

(1) 国語、地理歴史、公民、外国語、家庭、情報、 専門教科(「(2)その他の教科」以外)

- 平成25年度までに教科書の編集・検定・採択を行い、平成25年度入学生から学年進行で実施。

(2) その他の教科

- 専門教科(福祉)
新しい介護福祉士養成課程に対応するため、学校の判断により、平成21年度から新学習指導要領によることも可能。
- 保健体育、芸術、専門教科(体育、音楽、美術)
学校の判断により、平成22年度から新学習指導要領によることも可能。

II. 特別支援学校

- 幼稚部は、平成21年度から実施
- 小・中学部は、小学校・中学校学習指導要領の実施スケジュールに準拠(平成21年度から移行措置、平成23年度から小学部実施、平成24年度から中学部実施)
- 高等部は高等学校学習指導要領の実施スケジュールに準拠

工業教育資料 通巻第 323 号

(1月号) 定価 210 円 (本体 200 円)

2009 年 1 月 5 日 印刷

2009 年 1 月 10 日 発行

印刷所 株式会社伸樹社

© 編集発行 実教出版株式会社

代表者 鳥根 正幸

〒102 東京都千代田区五番町 5 番地

-8377 電話 03-3238-7777

<http://www.jikkyo.co.jp/>